

【2022年卒】内定獲得後に、就職活動を継続していた学生が4割を超える。理由は、「志望企業の選考が入っていたから」が最多。内定取り消しを懸念する学生は少ない傾向。

株式会社学情は、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「内定（内々定）の獲得と承諾」（※以下、内定に統一）について調査し、内定を獲得している学生504名から回答を得ました。内定獲得後の就職活動について、40.3%が「活動を継続した」と回答しています。継続していた理由は、「志望企業の選考予定が入っていたから」が58.6%で最多。次いで、「就職活動で後悔したくないから」57.1%が続きました。より納得した就職をするために、就職活動を継続していた学生が多いことが分かります。

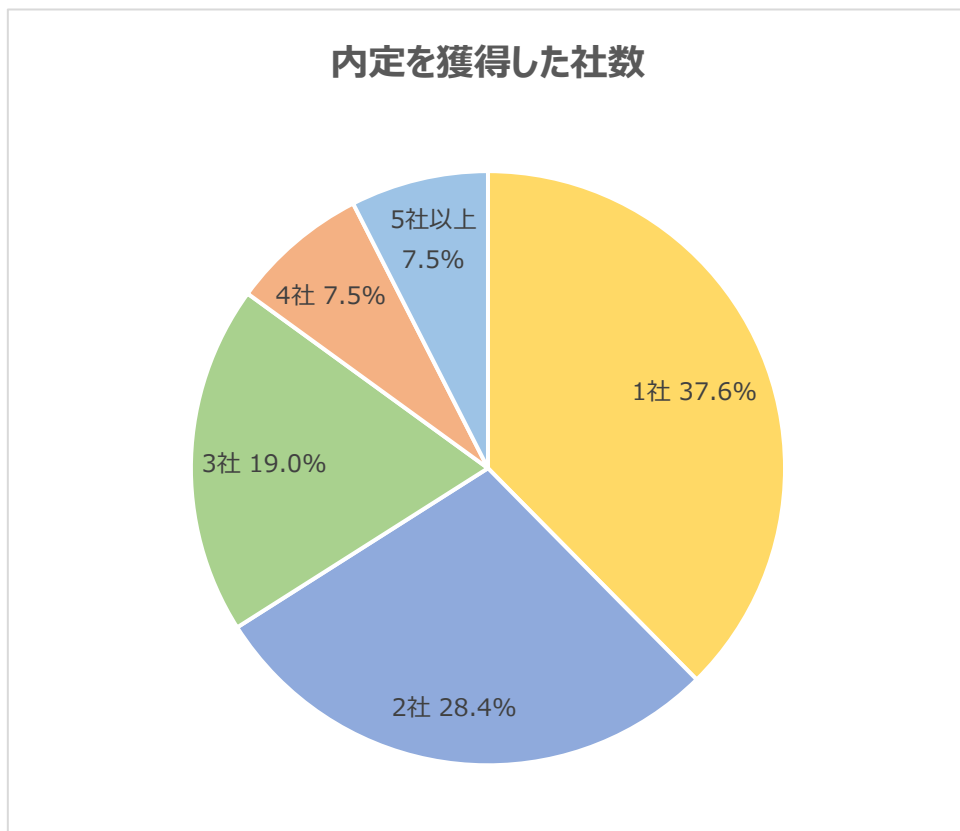
【TOPICS】

- (1) 「2社以上」の内定を獲得した学生が62.4%
- (2) 内定獲得後も就職活動を継続していた学生が、4割を超える
- (3) 内定獲得後も就職活動を継続した理由は「志望企業の選考が入っていたから」が最多

【調査の背景】

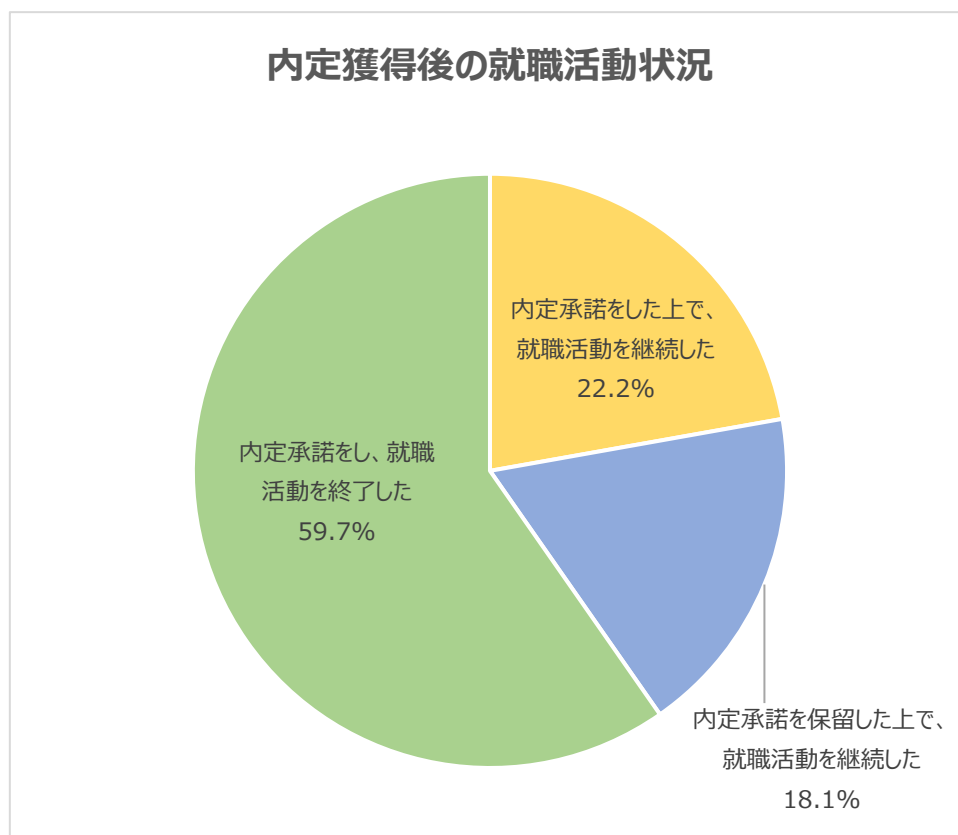
昨年より、コロナ禍で「内定取り消し」が発生するケースもあり、学生は内々定を獲得後も、「複数の内々定を保有し続ける」と想定されていました。実際に、2022年卒の学生は内定獲得後も就職活動を継続したのか、内定取り消しに不安を抱いているのかを明らかにするべく、内定獲得後の就職活動状況について調査しました。

- (1) 「2社以上」の内定を獲得した学生が62.4%



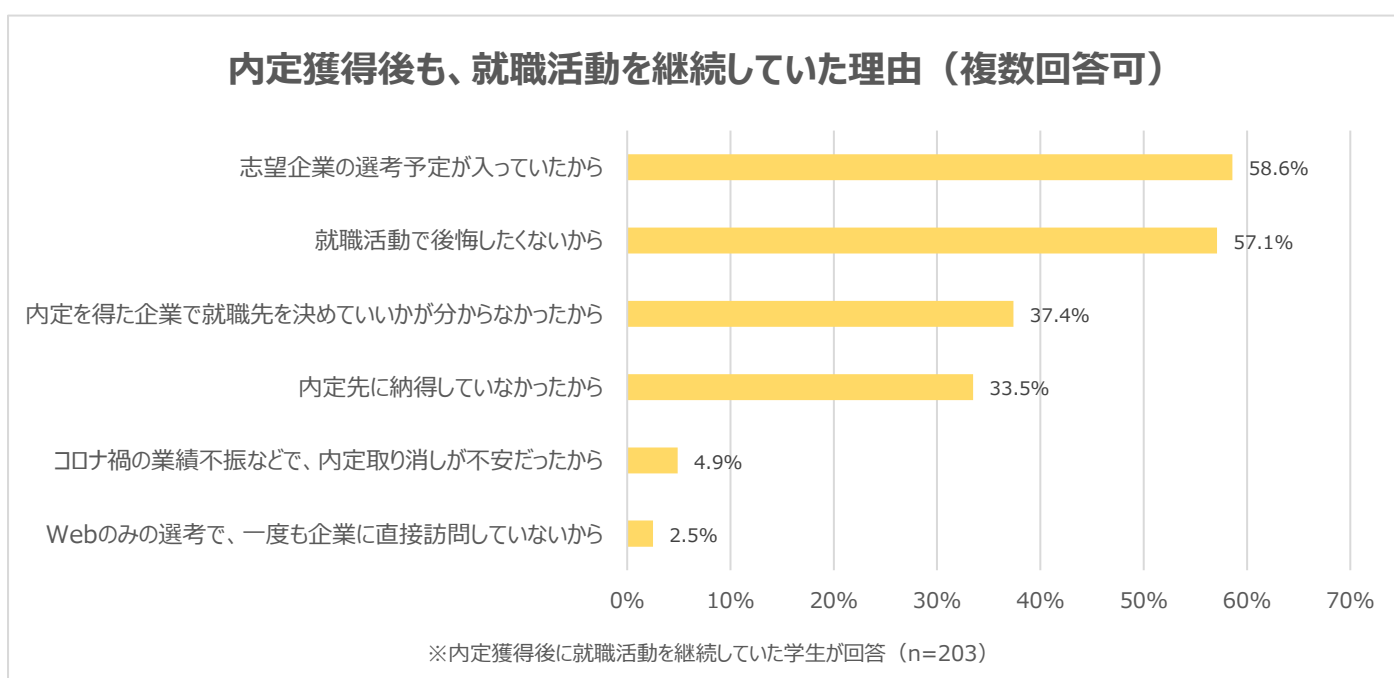
内定の獲得者数について、内定獲得済の学生のうち約6割が「2社以上」の内定を獲得していることが分かりました。獲得社数で最も多かったのは「1社」37.6%で、「2社」28.4%、「3社」19.0%が続きます。7.5%の学生は、「5社以上」の内定を獲得しています。

(2) 内定獲得後も就職活動を継続していた学生が、4割を超える



内定獲得後の就職活動の状況について、4割以上が「活動を継続していた」と回答しました。「内定承諾をした上で、就職活動を継続した」22.2%、「内定承諾を保留した上で、就職活動を継続した」18.1%と続きます。「内定承諾をし、就職活動を継続した」と回答した学生は59.7%でした。

(3) 内定獲得後も、就職活動を継続した理由は「志望企業の選考予定が入っていたから」が最多



内定獲得後も就職活動を継続していた理由は、「志望企業の選考予定が入っていたから」が58.6%で最多。次いで、「就職活動で後悔したくないから」57.1%と続きました。納得した就職活動をするために、選考参加を続けていたことが分かります。「コロナ禍の業績不振などで、内定取り消しが不安だったから」の回答は4.9%に留まっており、「内定取り消し」を懸念している学生は少ないことが明らかになりました。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」会員
※既に内定を獲得している学生が回答
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021 年 9 月 14 日～2021 年 9 月 22 日
- ・有効回答数：504 名